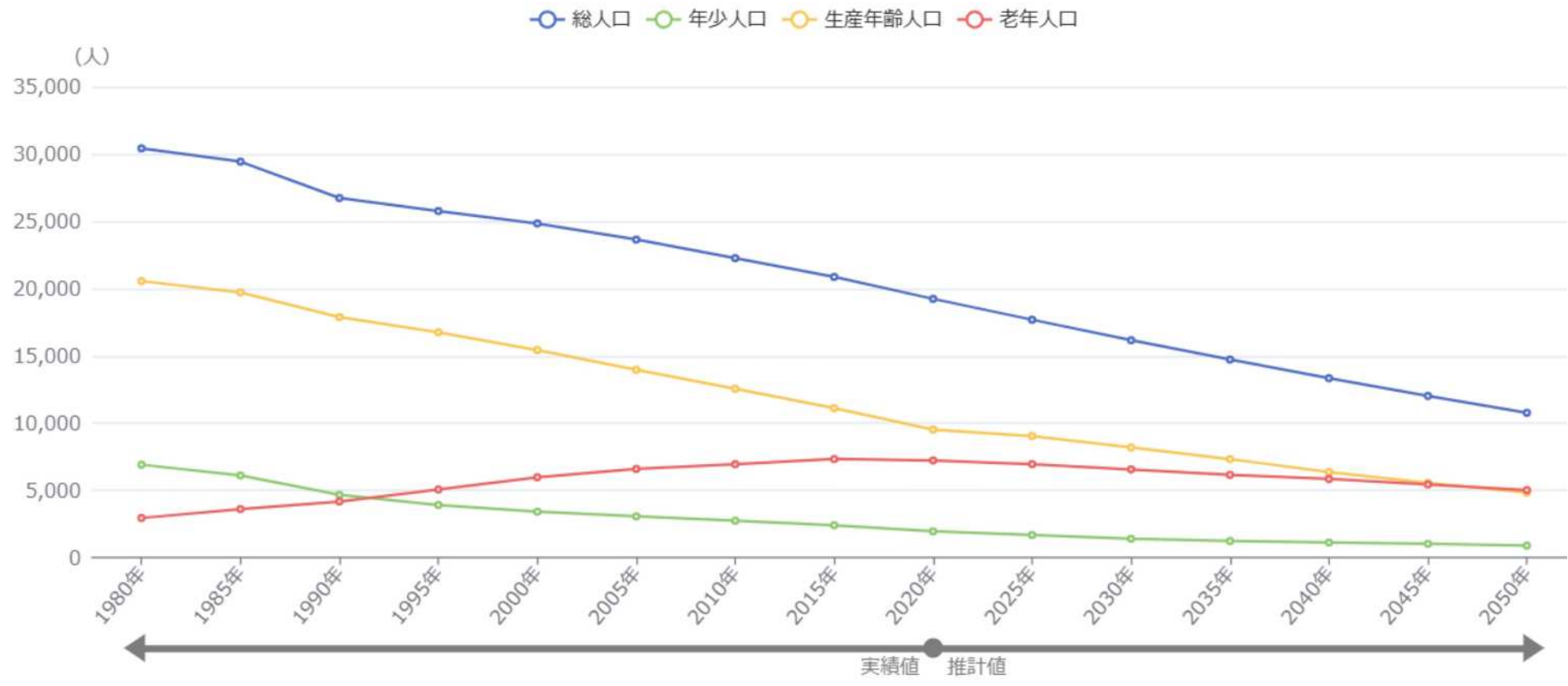


人口推移グラフ

北海道遠軽町



【出典】

総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（令和5年12月公表）に基づく推計値。

2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2025年以降のデータでは、福島県「浜通り地域」に属する13市町村（いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯舘村）をまとめて推計しているため表示されない。

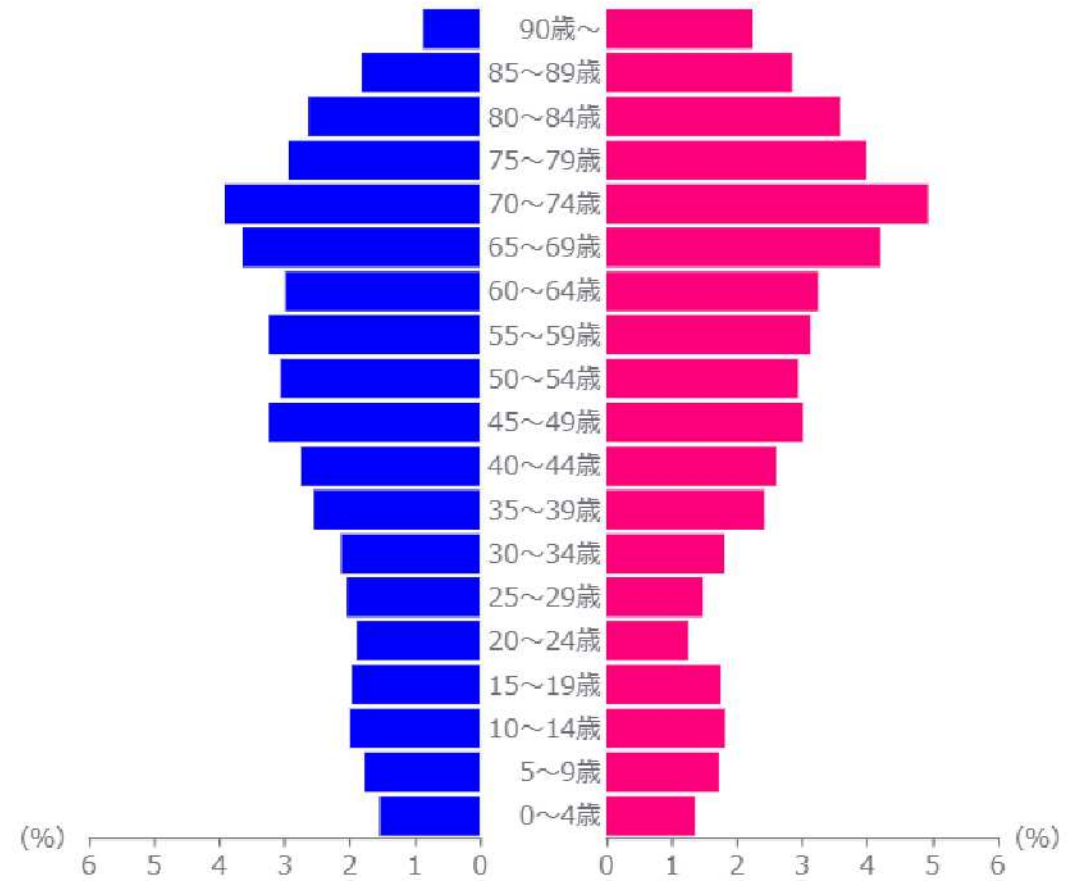
総数には年齢不詳を含む。

分析 条件

人口ピラミッド 北海道遠軽町

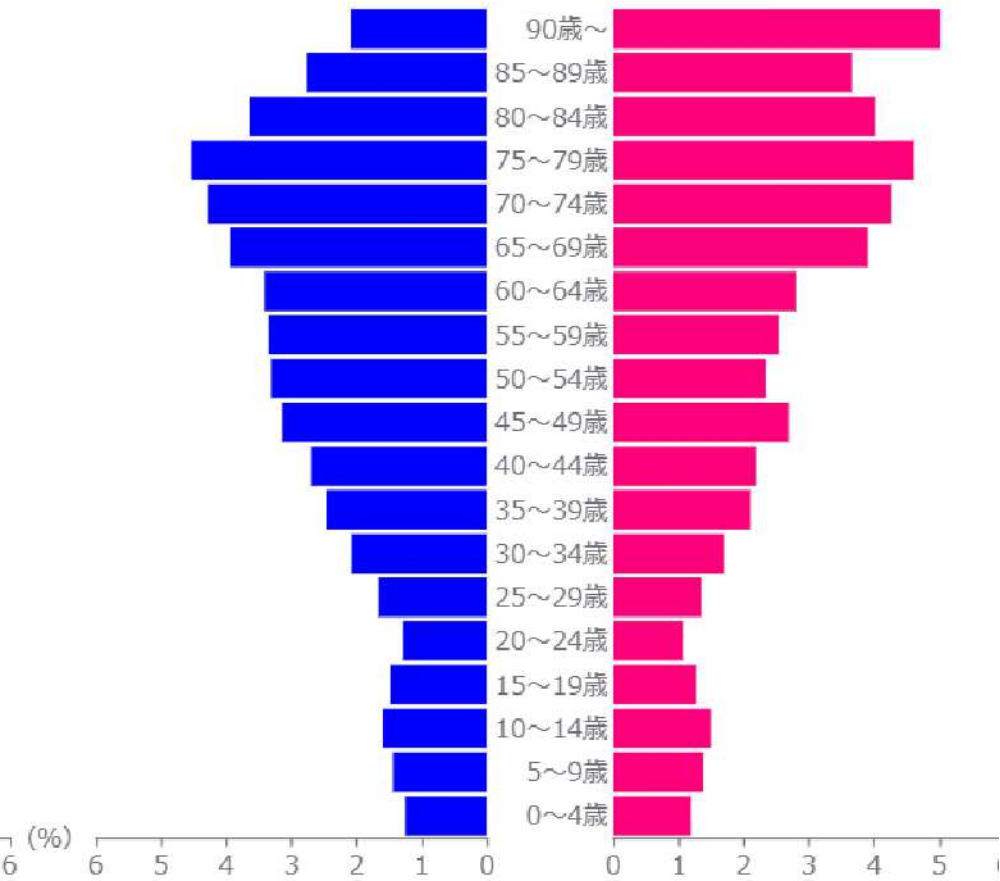
2020年

■ 男性 ■ 女性



2050年

■ 男性 ■ 女性



老年人口（65歳以上）：7,230人（37.58%）
 生産年齢人口（15歳～64歳）：9,521人（49.48%）
 年少人口（0歳～14歳）：1,961人（10.19%）

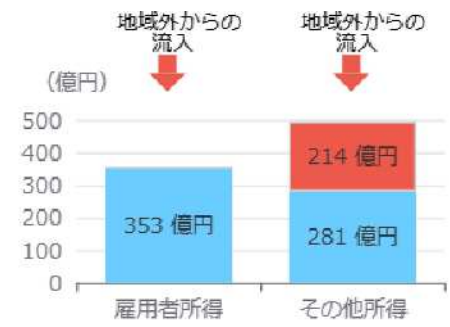
老年人口（65歳以上）：5,032人（46.73%）
 生産年齢人口（15歳～64歳）：4,837人（44.92%）
 年少人口（0歳～14歳）：900人（8.36%）

【出典】
 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
【注記】
 2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（令和5年12月公表）に基づく推計値。

地域経済循環率
74.4%

所得への分配
634

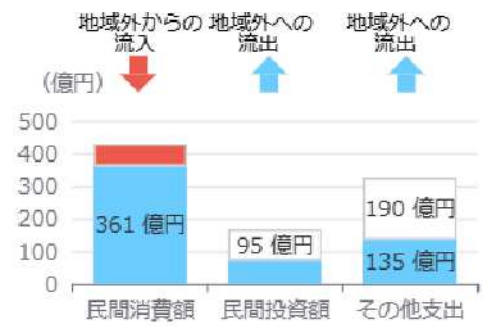
分配（所得）



詳細を見る

所得からの支出
852

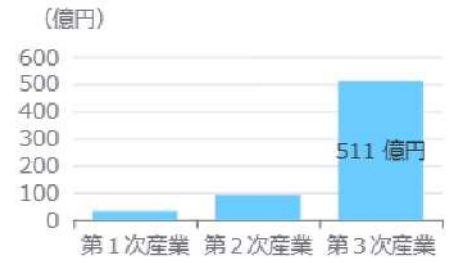
支出



詳細を見る

支出による
生産への還流
634

生産（付加価値額）



詳細を見る

【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所 (日本政策投資銀行グループ) 受託作成)

[地域経済循環分析 \(環境省\)](#)

【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<https://www.vmi.co.jp/reca/>

「地域経済循環率」とは、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等により構成される。

「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

「その他支出」は、「政府支出」+「地域内産業の移輸出-移輸入」により構成される。例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合（域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額より大きい場合）、は「その他支出」の金額がマイナスとなる。



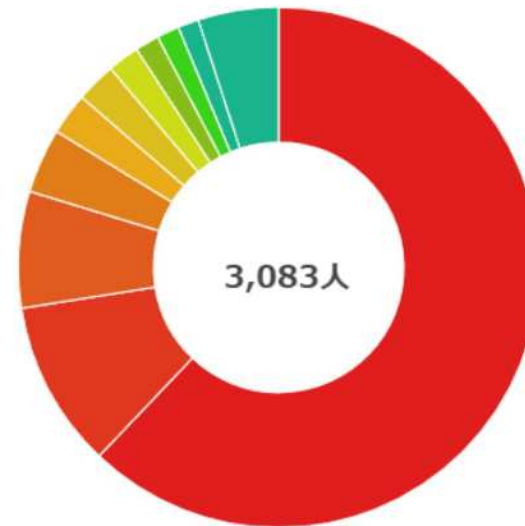
キャプチャ



全画面

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合

2023年 北海道 遠軽町



- 1位 北海道 1,915人 (62.11%)
- 2位 東京都 320人 (10.38%)
- 3位 神奈川県 223人 (7.23%)
- 4位 愛知県 124人 (4.02%)
- 5位 埼玉県 80人 (2.59%)
- 6位 大阪府 77人 (2.50%)
- 7位 茨城県 61人 (1.98%)
- 8位 千葉県 46人 (1.49%)
- 9位 栃木県 43人 (1.39%)
- 10位 滋賀県 40人 (1.30%)
- その他 154人 (5.00%)